

# 白布城だより 2021・夏

栃木県立真岡高等学校定時制課程

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

☎0285-82-3413 ■FAX0285-82-2913

## ●巻頭言●

ごあいさつ

教頭 植竹 暁



保護者の皆様並びに定時制後援会、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なるご協力とご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

本校定時制は今年度、1年生に8名の新入生、2、3年生に各1名の転編入学生を迎え、全学年 58名の生徒でスタートしました。コロナ禍の中ではありますが、多くの生徒が元気に登校し、落ち着いた学校生活を送っています。授業など学習への取組は良好であり、1学期末の成績についても例年になく成績優秀者の割合が高くなっています。

学校行事や生徒会活動などにも意欲的に取り組んでおり、特に、生徒会役員改選では、数年ぶりに定員を超える立候補があり選挙となりました。数名の立候補者が「生徒会役員となって自分を変えたい」と演説していたのが印象に残っています。新たなことにチャレンジして、自分をチェンジ(=成長)したいという生徒が次々出てきてほしいです。また、学校としても、生徒が色々なことにチャレンジできるチャンスを提供していけるよう、コロナ禍の中であっても、できる限りの感染症対策を講じながら、授業はもちろんのこと、学校行事や生徒会活動の充実を図っていきたくと考えています。

さて、新型コロナの影響で昨年度は中止したPTA総会や定時制後援会総会も、今年度は開催することができ、例年より多くの会員の方々にご参加いただきました。ありがとうございました。また、夏季休業中に保護者面談を実施するほか、2学期には、10月29日(金)に真岡西ロータリークラブと連携した全校ボランティア活動(地域清掃)を予定しています。こうした取組を通して、より一層、学校と家庭、地域のつながりを深めていきたいと考えております。

今年も、前橋校長の下、教職員一丸となって、生徒一人一人に「目をかけ、手をかけ、心をかける」教育に努めて参りますので、保護者の皆様並びに定時制後援会、地域の皆様には、引き続き、本校の教育活動へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(教頭写真：濱 裕葵・4年次生/出版委員長 撮影)

## ■コロナ禍でも厳かな入学式

4月7日(水)、令和3年度の全定合同による入学式が挙行されました。昨年度に続いてコロナ禍での式となりましたが、それでも、真岡高等学校の伝統を受け継いだ堂々たる雰囲気を出した式典でした。

佐藤 務同窓会長、全定を代表して全日製のPTA会長様からの御祝辞をいただき、前橋 均校長先生が、定時制8名の新入生を含む208名の新入生に対して、夢と希望に満ちた高校生活を期待する旨の話をされました。

その後、定時制課程の保護者と生徒は、別室に移動してオリエンテーションを行いました。



## ■離着任式は放送で！——退任先生・新任先生紹介

4月8日(木)、今年度、退任された先生と新たに着任された先生が紹介されました。地理歴史・公民科の伊沢敦夫先生は、本校定時制を最後に退職されて、これからはご自分の描いた人生設計図に基づいて毎日を過ごされるとのことでした。

そして、新たに足利南高校から英語科の江田 諭先生をお迎えしました。江田先生は、以前、宇都宮市にある高校の定時制課程で教鞭を執っておられたとのこと。どうぞよろしくお願いいたします。

## ■120有余年の歴史を誇る——本校創立記念日

4月20日(火)は、真岡高等学校の創立記念日です。明治33年に開校した本校は、度重なる自然災害などを乗り越えて現在に到っていますが、今年度の記念講話は、その開学時からある記念館で行われました。

その当時は、真岡町民(現真岡市民)の熱意ある嘆願によって栃木県が動き、資金の半分を町民の私財寄付によって本県3番目の中学校(栃木県第三中学校)が誕生したそうです。

今、私たちがスクールライフを送っている場所は、かつて、「白布城」というお城(出城)があったことが記録に残っているようですが、そのように、地味ながら歴史に彩られた場所で学ぶ私たちは、一人一人が「真高プライド」を持って、各自の人格形成に励んで過ごしたいと思えます

## ■死角はすぐ隣りに！——情報モラル教育

ゴールデンウィークの最中の5月7日（金）、記念館において「情報モラル教育」が行われました。便利だから、面白いからと何気なくサイトに開いてしまうことがよくあるのですが、考えもしなかった落とし穴にはまってしまうこともあるとのこと。最低限、**個人情報**を電波に乗せないことが大切だと話されていました。過去に、自分の顔写真を公開し、瞳に映った風景から所在地が分かってしまい、命を落とした芸能関係者もいました。「まさか！」が現実のものになるのが現在。皆さんも、後悔しなくて済む行動をとりましょう。

## ■PTA 総会・授業参観を開催

今年度の授業参観・PTA 総会が5月12日（水）に行われました。総会に先立ち、5月10日（月）に、監事の小島修子様に来校いただき、会計監査を行いました。

総会は、高橋三高会長の議事進行で進み、議事の中で前橋校長から、コロナ禍における予算の活用について説明がありましたが、その後は滞りなく会は進みました。最後に、令和3年度の役員人事が、以下のとおりになりました。

会 長	高橋 三高(2年次 再)	副会長	岩崎 雅美(1年次)
監 事	小島 修子(3年次 再)	監 事	金壽ひろみ(2年次)
理 事	篠原かよ子(4年次 再)	理 事	松山真智子(4年次 再)
理 事	高橋 祐枝(3年次 再)	理 事	半塚亜矢子(2年次 再)
理 事	大橋 淳子(1年次)		

※敬称略

皆さま、1年間、よろしくお願ひします。

## ■令和3年度生徒総会、開かれる

5月21日（金）の3時限目を活用して、令和3年度の生徒総会が開催されました。

総合司会を、渡邊紫音さん（3年次）、開会・閉会の辞を波多野健也さん（4年次）が担当。議長・副議長に、篠崎柊人さん・松山遙樹さん（共に4年次）が務めました。

議事は滞りなく承認され、令和3年度の本校定時制の骨格が承認されました。

コロナ禍にある厳しい現状ですが、生徒達には、この渦を、ぜひ、力強く乗り切って欲しいと思います。

## ■価値観の相違を知ろう！——国際理解教育

5月28日（金）、宇都宮大学国際学部教授の松金 公正先生を講師にお招きして、「中国・台湾の文化研究」の話題を中心に『異文化理解と国際交流』について話をいただきました。

先生は、海外における日本人のイメージについて話され、「外国人は、現在でも、日本にはちょんまげを結った武士スタイルの人がたくさん生活している、と思っている。知識や情報などは、そのように正しいものとは限らない。異文化理解というのは、少しずつ積み上げていくもので、違いと共通点をしっかり把握しなければならない。」と、話されていました。「報道写真にも同じことが言える。真実の写真の一部だけを切り取って公開すれば、見た人はそれが全てだと勘違いする。真の国際理解のためには、まず、相手を理解することを大前提にすべきだ。」などと、話されていました。

本校生にとっては、日常でも役立つヒントが隠されていた話でした。

## ■各自の身体能力を知ろう！

梅雨の合間の6月3日（木）と4日（金）の二日間、今年度の新体力テストが行われました。保健体育科の佐藤成之先生の号令の下、全校生徒と全先生とがそれぞれの種目に挑戦していました。

種目別に記録した用紙を基に、教室に戻った後、個人票の記入が行われました。



## ■将来の自分が見える——進路ガイダンス

6月11日（金）、全校生対象の「進路ガイダンス」が開かれました。進路担当の小森法史先生（英語科）が、これまで培った人脈を生かし、大学から専門学校まで、各種の分野の先生方に来ていただきました。

生徒は、将来の自分の進路決定に向けて、真剣に話に聞き入っていました。

## ■今年度も、「性に関する講話」視聴

6月25日（金）、地元、芳賀赤十字病院の助産師、生井美智子先生を講師に迎え、今年度の「性に関する講話」が行われました。

生徒達は、過去に何回か聴取した内容だったかも知れませんが、真剣に話を聴いていました。

生徒の感想は、来春に発刊する生徒会誌『白布城50号』に掲載（一部）する予定です。

## ■記念館での初めての「定時制後援会総会」、開かれる。

いよいよ夏らしくなった7月2日（金）。記念館講堂において、令和3年度の定時制後援会総会が行われました。例年になく多くの会員の方にお集まりいただき、鈴木定男後援会会長の司会のもと、本校の前橋校長の丁寧な補足説明などを交えて、スムーズに会は展開しました。

なお、総会に先立つ6月30日（水）に、監事の齊藤敏彦様と二瓶修治様が来校され、監査をさせていただきました。

総会の後、修復なった記念館内の資料室を見学いただきましたが、会員の皆さまには本校の卒業生も多く、担当の先生よりも詳しい裏話などが披露されていました。

令和3年度の新役員は次の頁の通りです。

**会 長** 鈴木 定男 (株式会社 山都)  
**副会長** 二ツ森康明 (宝栄工業株式会社)  
**副会長** 小池 敏之 (真岡工業団地総合管理協会)  
**監 事** 齊藤 敏彦 (株式会社 ホンデン製作所)  
**監 事** 二瓶 修治 (富士ファイバー株式会社)

※敬称略

## ■「熱い演説」のあとの選挙！——生徒会役員改選



今年度も、夏の到来を前に、7月9日(金)、記念館講堂にて後期生徒会会長・副会長の選挙が行われました。

例年、信任投票だったのですが、今年度は、生徒会長候補(当選1)に2名、副会長候補(当選2)に3名の立候補があり、ポスター制作や熱のこもった立会演説会など、例年になく盛り上がりを見せていました。

結果は、以下のとおりです。

**生徒会長** 八谷 花梨 (2年次)  
**副会長** 赤羽ひろみ (3年次)  
 ビント ジオ (2年次)

## ■交流は未来への出発点！？——真岡ライブラリーとの交流会

まもなく梅雨も明けようとしている7月12日(月)。生徒会顧問の岡野 晃先生率いる3人の生徒会役員は、恒例となっている真岡ライブラリーへの訪問・交流を行いました。

事前に、生徒は、放課後を使って、いろいろなゲームの準備をしてきました。交流してきた生徒は、「はじめはギクシャクしていたけれど、慣れてくるとみんな伸び伸びと交流できた。」と、話していました。

## ■全校生で作り上げた校内生活体験発表会

7月16日(金)、梅雨も明けて夏本番の中、本校記念館講堂において「生活体験発表会」が開かれました。

司会進行から審査員誘導まで、すべて生徒会役員を中心とした「実行委員会」のメンバーが活躍しました。

結果は以下のとおりです。

**最優秀賞** 白井 城依(4年次) 『私の半生の反省』  
**優秀賞** 田中美由希(2年次) 『自分を見つめ直して決意したこと』  
**優秀賞** 鈴木 乃愛(1年次) 『全てが正解だった』

なお、最優秀賞を受賞した白井さんは、秋に行われる「県高等学校定時制通信制文化発表会」の本校代表になります。

## ■若さ、爆発！——校内体育大会

熱中症の危険度が増した7月19日(月)、恒例の第1学期の校内体育大会(バスケットボール・バドミントン・卓球)が本校体育館で行われました。ぐんぐん気温が上昇した中、体調を崩す生徒が続出することが懸念されましたが、大きく体調を崩す者も怪我をする者もいず、精一杯競技に打ち込んでいました。

結果は、以下のとおりです。

### ●バドミントン

**優勝** ビント ジオ(2年次) **準優勝** ビステ ロック(3年次)

### ●バスケットボール

**優勝** 1年次 **準優勝** 4年次B

### ●卓球

**優勝** 野澤 尚史(2年次) **準優勝** 金壽 光稜(2年次)



## ■和泉式部の歌とともに——第1学期終業式

7月20日(火)、慣れない身体にこたえる暑さの中、記念館講堂において第1学期の終業式が行われました。

前橋校長は、生徒達に、「正しく あこがれる」とのテーマで話され、今から1,000年ほど以前に活躍した和泉 式部(いづみしきぶ)の和歌『もの思へば 沢の蜚も 我が身より あくがれ出づる 魂(たま)かどぞ見る』を引用されて、現代の話題と融合させながら生徒達に分かりやすく話されました。

私たちは、日頃何気なく過ごしていますが、今回の校長先生の話をお聞きし、『ハッ』とさせられることもあるようです。生徒の皆さんにも、常日頃の「ひらめき・ときめき」を大切に生活して欲しいと思ったのは、私だけでしょうか？

## ■お子さまを、自家用車で送迎される皆さまへ

### ●駐車場内での乗り降りを

自家用車でお子さまを送迎された場合、学校近くの道路での乗降(特に、正門、北門付近)は、他の自動車等の通行の妨げとなり危険ですので、構内(校内)の駐車スペースでの乗降をお願いします。

### ●構内では最徐行運転を

保護者の皆さまには、日頃から構内徐行運転に御協力をいただき、ありがとうございます。構内では、全日制の自転車通学生徒とのすれ違いもあります。構内速度10km/hでの運転をお願いします。

### ●駐車場内でのアイドリングストップ

本校の周辺は、住宅街です。自動車等のエンジンをかけたまま駐車しますと、近隣にお住まいの皆さまの迷惑となることもございますので、お子さまをお待ちの間は、アイドリングストップに御協力ください。

## ■「図書だより」夏号(図書委員会 刊行)を、御覧になりましたか？

「図書委員『思い出の一作』」を中心に、令和3年度の「委員会報」が生徒に配られました。

顧問の江田 諭先生(英語科)、河上敦朗先生(国語科)の御指導の下、夏休みを前に、年三回発行予定の第1回会報紙が全校生徒に配付されました。昨年度の顧問、岡野 晃先生(数学科)からの引き継ぎです。

高校生は、スポーツに勉強に文化に、フル回転で取り組んで欲しいと思います。皆さんの、この夏季休暇中の成果を、ぜひ、第2学期以降、発揮してください。

## ●令和3年度 クラス担任等一覧●

学年次(コース)	在籍	出席率	皆勤	担 任・副担任(教科)
1年次(夕・夜)	8名	90.5%	1名	正 河上 敦朗(国語科・芸術科) 副 江田 諭(英語科)
2年次(夕・夜)	16名	93.6%	7名	正 篠原 義勝(理科) 副 石川 善行(地理歴史・公民科)
3年次(夕・夜)	16名	84.0%		正 岡野 晃(数学科) 副 大谷 武(国語科)
4年次(一・夜)	18名	95.3%	7名	正 横川 航一(数学科・情報科) 副 小森 法史(英語科)

## ★白布のかぜ～あとがきに代えて～

今年も、暑い夏がやってきました。昨年度からのコロナ禍にあって、生徒の皆さんも「慣れっこ」になってきた感がありますが、感染予防策は大丈夫ですか。どうか、日常の「新しい生活習慣」をもう一度脳裏に浮かべ、お互い、感染に気をつけましょう。

それにしても、ワクチン接種の方法をはじめ、さまざまな情報が飛び交う中、私たちは、気がついたら「暗中模索の状況にある」、と言ってもよい気がします。

いつまで「我慢の生活」が続くのか分かりませんが、確かなことは、「時間は着実に進んでいる。」ということです。時間は待つてはくれませんが、現状を踏まえながらも、生徒の皆さんや保護者の皆さま、そして、地域の皆さまや私たち教職員、すべての人々にとって「耐えながらも、開放感を味わうことができるその日を信じて」日々を大切にしていきたいと思います。

終わりに、もう一度、新型コロナウイルスに感染しないための基本的な「予防策」を記します。

1 「緊急事態宣言」が発令されている地域(東京都、千葉県、埼玉県)への、不要不急な移動の禁止

2 「3密(密接・密集・密閉)を避けるために、

- ① 会話するときには、人と人との間隔を、2m以上取り、大声で談笑するのは辞めよう。
- ② 人がたくさん集まる場所には、行かないようにしましょう。
- ③ 手指の消毒・検温を習慣化しよう。

皆さま、真岡高校定時制に関わる全ての方々が、つつがなく第2学期を迎えられますように祈念しております。

(記録・広報係)